

科目名	数 学 I	単位数	3	学科・学年・学級	森林環境科 1年1組
学習の到達目標	数と式、図形と計量、2次関数及びデータの分析について理解させ、基礎的な知識の習得と技能の習熟を図り、事象を数学的に考察する能力を培い、数学のよさを認識できるようにするとともに、それらを活用する態度を育てる。			教科書 ・ 副教材	新 高校の数学 I (数研出版) ポイントノート数学 I (数研出版)
評 価 規 準					
観 点	評 価 規 準			方 法	
知識・技能	基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。			<ul style="list-style-type: none"> <li>・課題の解答</li> <li>・発問に対する応答</li> <li>・プリント</li> <li>・定期考査</li> </ul>	
思考・判断・表現	各単元において適切な手法を選択して分析を行い、問題を解決したり、解決の過程や結果を批判的に考察し判断したり、数理的に考察する力を養う。			<ul style="list-style-type: none"> <li>・課題の解答</li> <li>・ノートのまとめ方</li> <li>・プリント</li> <li>・定期考査</li> </ul>	
主体的に学習に取り組む態度	数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づき判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。			<ul style="list-style-type: none"> <li>・課題への取組</li> <li>・ノートのまとめ方</li> <li>・発問に対する応答</li> <li>・定期考査</li> </ul>	
学 習 計 画					
	学 習 内 容	学 習 の ね ら い			考査
1 学 期	第1章 数と式 第1節 数と式の計算  第2節 1次不等式  第4章 集合と論理	<ul style="list-style-type: none"> <li>・中学校で学んだ基本事項の復習と基礎計算を中心にした問題演習を行い、学習内容の定着を確認する。</li> <li>・整式の加法、減法の計算ができるようにする。</li> <li>・式を、1つの文字に着目して整理したり、置き換えたりするなどして、既に学習した方法と関連付けて処理できるようにする。</li> <li>・新たな因数分解公式を加えて、因数分解を自在に使いこなせるようにする。</li> <li>・数の体系についての理解を深め、簡単な無理数の計算ができるようにする。</li> <li>・数量の間の大小関係や不等式の性質を理解して、1次不等式の解き方を習得する。</li> <li>・集合と命題に関する基本的な概念を理解し、それを事象の考察に活用できるようにする。</li> </ul>			中間・ 期末
2 学 期	第2章 2次関数 第1節 2次関数のグラフ  第2節 2次関数の値の変化  第3章 図形と計量 第1節 三角比	<ul style="list-style-type: none"> <li>・互いに関連しながら変化するものとしての関数の概念や関数の定義域・値域を理解する。</li> <li>・2次関数のグラフの特徴を理解するとともに、グラフをかけるようにする。</li> <li>・2次関数の値の変化について理解する。</li> <li>・2次方程式の解とグラフの関係を理解し、グラフを用いて2次不等式を解けるようにする。</li> <li>・三角比としてのタンジェント、サイン、コサインの意味を理解し、直角三角形の辺と角の間の基本的な関係を使えるようにする。</li> <li>・座標を用いた鈍角の三角比の求め方を理解する。</li> <li>・日常の事象などを数学的にとらえ、三角比を活用して問題を解決できるようにする。</li> </ul>			中間・ 期末
3 学 期	第2節 三角比の応用  第5章 データの分析	<ul style="list-style-type: none"> <li>・一般の三角形の辺と角との間に成立する三角形の面積の公式と、正弦定理、余弦定理を導き、それらを活用できるようにする。</li> <li>・統計の基本的な考えを理解するとともに、それを用いてデータを整理・分析し傾向を把握できるようにする。</li> </ul>			学年末

科目名	数学Ⅰ・A	単位数	5	学科・学年・学級	普通科 1年2組
学習の到達目標	数と式、図形と計量、2次関数、データの分析、図形の性質及び場合の数と確率について理解させ、基礎的な知識の習得と技能の習熟を図り、事象を数学的に考察する能力を培い、数学のよさを認識できるようにするとともに、それらを活用する態度を育てる。			教科書・副教材等	新編 数学Ⅰ (数研出版) 新編 数学A (数研出版) Study-Upノート 数学Ⅰ+A (数研出版)
評 価 規 準					
観 点	評 価 規 準			方 法	
知識・技能	基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。			・課題の解答 ・発問に対する応答 ・プリント ・定期考査	
思考・判断・表現	各単元において適切な手法を選択して分析を行い、問題を解決したり、解決の過程や結果を批判的に考察し判断したり、数理的に考察する力を養う。			・課題の解答 ・ノートのまとめ方 ・プリント ・定期考査	
主体的に学習に取り組む態度	数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づき判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。			・課題への取組 ・ノートのまとめ方 ・発問に対する応答 ・定期考査	
学 習 計 画					
	学 習 内 容		学 習 の ね ら い		考査
1 学 期	[数学Ⅰ] 第1章 数と式 式の計算 実数 1次不等式  第2章 集合と命題  第3章 2次関数 2次関数とグラフ 2次関数の値と変化 2次方程式と2次不等式		・式を、目的に応じて1つの文字に着目したり置き換えたりして、既に学習した計算の方法と関連付けて多面的に捉えたり適切に変形できるようにする。数の体系についての理解を深め、不等式の性質を理解して1次不等式を解く方法を考察する。  ・集合と命題に関する基本的な概念を理解し、それを事象の考察に活用できるようにする。  ・2次関数について理解し、関数を用いて数量の変化を表現することの有用性を認識するとともに、それを具体的な事象の考察、2次方程式や2次不等式を解くことなどに活用できるようにする。		中間・期末
2 学 期	[数学A] 第1章 場合の数と確率 場合の数 確率  [数学Ⅰ] 第5章 データの分析  [数学A] 第2章 図形の性質 平面図形 空間図形		・数え上げの原則や、順列・組合せ及びその総数の求め方について理解する。また、確率の意味や基本的な法則についての理解を深め、それらを事象の考察に活用できるようにする。  ・統計の基本的な考えを理解するとともに、それを用いてデータを整理・分析し傾向を把握できるようにする。  ・三角形や円などの基本的な平面図形や空間図形の性質についての理解を深め、図形の見方を豊かにするとともに、それらを事象の考察に活用できるようにする。		中間・期末
3 学 期	[数学Ⅰ] 第4章 図形と計量 三角比 三角形への応用		・直角三角形における三角比の意味、それを鈍角まで拡張する意義及び図形の計量の基本的な性質について理解し、角の大きさなどを用いた計量の考えの有用性を認識するとともに、それらを具体的な事象の考察に活用できるようにする。		学年末

科目名	数学A	単位数	2	学科・学年・学級	森林環境科 2年1組
学習の到達目標	図形の性質、場合の数と確率について理解させ、基礎的な知識の習得と技能の習熟を図り、数学と人間の活動の関係について認識を深め、事象を数学的に考察する能力を培い、数学のよさを認識できるようにするとともに、それらを活用する態度を育てる。		教科書・副教材等	新高校の数学A (数研出版) ポイントノート数学A (数研出版)	
評価					
観点	評価規準			方法	
知識・技能	基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。			<ul style="list-style-type: none"> <li>課題の解答</li> <li>発問に対する応答</li> <li>プリント</li> <li>定期考査</li> </ul>	
思考・判断・表現	各単元において適切な手法を選択して分析を行い、問題を解決したり、解決の過程や結果を批判的に考察し判断したり、数理的に考察する力を養う。			<ul style="list-style-type: none"> <li>課題の解答</li> <li>ノートのまとめ方</li> <li>プリント</li> <li>定期考査</li> </ul>	
主体的に学習に取り組む態度	数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づき判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。			<ul style="list-style-type: none"> <li>課題への取組</li> <li>ノートのまとめ方</li> <li>発問に対する応答</li> <li>定期考査</li> </ul>	
学習計画					
	学習内容	学習のねらい			考査
1 学期	第1章 場合の数と確率 第1節 場合の数  第2節 確率	<ul style="list-style-type: none"> <li>樹形図を用いたり順序だてて並べたりすることで、場合の数をもれなく重複なく数えることができるようにする。</li> <li>場合の数に関して成り立つ和の法則・積の法則を正しく用いることができるようにする。</li> <li>順列と組合せの意味を理解し、場合の数を求めることができるようにする。</li> <li>確率についての基本的な性質を理解し、いろいろな事象の確率を求めることができるようにする。</li> </ul>			中間・期末
2 学期	第2章 図形の性質 第1節 平面図形  第2節 空間図形	<ul style="list-style-type: none"> <li>独立な試行の意味を具体例を通して理解し、反復試行の確率を組合せの公式を活用して求めることができるようにする。また、条件付き確率や期待値について理解し、求めることができるようにする</li> <li>角の二等分線と辺の比の関係、重心、内心、外心、弧、弦、円周角、中心角などの性質を理解し、角の大きさや線分の長さを求めることができるようにする。</li> <li>円に内接する四角形の性質及び四角形が円に内接するための条件、円の接線と接点を通る弦とのなす角の性質、方べきの定理及び二つの円の位置関係などを扱い、これらを図形の性質の考察に活用できるようにする。</li> <li>中学校で学んだ基本的な作図を行うことができ、それをもとに円の接線が作図できるようにする。</li> <li>中学校での学習内容を踏まえ、2直線、2平面の位置関係や直線と平面の位置関係を理解させ、角の大きさや関係性を求めることができるようにする。</li> <li>多面体などに関する基本的な性質を理解する。</li> </ul>			中間・期末
3 学期	第3章 数学と人間の活動	<ul style="list-style-type: none"> <li>整数の約数、倍数や素数に関する基礎的な事柄を扱い、それらを具体的な問題の解決に活用できるようにする。</li> <li>最大公約数を求める方法としてユークリッドの互除法を理解させ、その有用性を認識させる。</li> <li>2進法について理解させ、10進法との書き換えができるようにする。</li> <li>地図上における特定の位置を座標の考えのように2つの要素で表したり、空間内にある点の位置を座標として読み取ることができるようにする。</li> </ul>			学年末

科目名	数 学 II	単位数	2	学科・学年・学級	森林環境科 2年1組 (選択) 普通科 2年2組 (選択)
学習の到達目標	<p>いろいろな式、図形と方程式、および三角関数の考えについて理解させ、基礎的な知識の習得と技能の習熟を図り、事象を数学的に考察する能力を培い、数学のよさを認識させて、それらを活用する態度を育てる。</p>			教科書 ・ 副教材 等	<p>新編 数学II (数研出版)</p> <p>Study-Upノート 数学II (数研出版)</p>
評 価 規 準 価					
観 点	評 価 規 準			方 法	
知識・技能	<p>基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。</p>			<ul style="list-style-type: none"> <li>・課題の解答</li> <li>・発問に対する応答</li> <li>・プリント</li> <li>・定期考査</li> </ul>	
思考・判断・表現	<p>各単元において適切な手法を選択して分析を行い、問題を解決したり、解決の過程や結果を批判的に考察し判断したり、数理的に考察する力を養う。</p>			<ul style="list-style-type: none"> <li>・課題の解答</li> <li>・ノートのまとめ方</li> <li>・プリント</li> <li>・定期考査</li> </ul>	
主体的に学習に取り組む態度	<p>数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づき判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。</p>			<ul style="list-style-type: none"> <li>・課題への取組</li> <li>・ノートのまとめ方</li> <li>・発問に対する応答</li> <li>・定期考査</li> </ul>	
学 習 計 画					
	学 習 内 容		学 習 の ね ら い		考査
1 学 期	<p>第1章 式と証明 第1節 式と計算 第2節 等式・不等式の証明</p> <p>第2章 複素数と方程式 第1節 複素数と2次方程式の解 第2節 高次方程式</p>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・多項式の乗法・除法及び分数式の四則計算や恒等式について理解できるようにする。</li> <li>・等式・不等式の証明を理解し、それを通して論証についての理解を深める。</li> <li>・方程式についての理解を深め、数の範囲を複素数まで拡張して2次方程式を解くことができるようにする。</li> <li>・剰余の定理や因数分解を利用して高次方程式を解くことができるようにする。</li> </ul>		中間・期末
2 学 期	<p>第3章 図形と方程式 第1節 点と直線</p> <p>第2節 円</p> <p>第3節 軌跡と領域</p>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・座標平面上において、2点間の距離や線分の内分点、外分点、点相互の位置関係を考察することができるようにする。</li> <li>・いろいろな条件を満たす直線の方程式を求め、2直線の位置関係を傾きの関係でとらえることができるようにする。</li> <li>・座標や式を用いて、円の性質や関係を数学的に表現して、その有用性を認識するとともに、事象の考察に活用できるようにする。</li> <li>・図形を、与えられた条件を満たす点の集合として認識するとともに、不等式を満たす点の集合が座標平面上の領域を表すことを理解し、それらを事象の考察に活用できるようにする。</li> </ul>		中間・期末
3 学 期	<p>第4章 三角関数 第1節 三角関数</p> <p>第2節 加法定理</p>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・角の概念を一般角まで拡張して、三角関数に関する様々な性質や式とグラフの関係について多面的に考察できるようにする。</li> <li>・加法定理を理解し、それらを事象の考察に活用できるようにする。</li> </ul>		学年末

科目名	数学Ⅱ・B・C	単位数	6	学科・学年・学級	普通科 2年2組（選択）
学習の到達目標	いろいろな式、図形と方程式、指数関数・対数関数、三角関数、微分・積分、数列および平面ベクトルの考えについて理解させ、基礎的な知識の習得と技能の習熟を図り、事象を数学的に考察する能力を培い、数学のよさを認識できるようにするとともに、それらを活用する態度を育てる。			教科書・副教材等	新編 数学Ⅱ（数研出版） 新編 数学B（数研出版） 新編 数学C（数研出版） クリアー 数学Ⅱ+B（数研出版）
評 価 規 準					
観 点	評 価 規 準			方 法	
知識・技能	基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。			・課題の解答 ・発問に対する応答 ・プリント ・定期考査	
思考・判断・表現	各単元において適切な手法を選択して分析を行い、問題を解決したり、解決の過程や結果を批判的に考察し判断したり、数理的に考察する力を養う。			・課題の解答 ・ノートのまとめ方 ・プリント ・定期考査	
主体的に学習に取り組む態度	数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づき判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。			・課題への取組 ・ノートのまとめ方 ・発問に対する応答 ・定期考査	
学 習 計 画					
	学 習 内 容		学 習 の ね ら い		考査
1 学 期	[数学Ⅱ] 第1章 式と証明 第2章 複素数と方程式 第3章 図形と方程式		・多項式の乗法・除法及び分数式の四則計算や恒等式、等式・不等式の証明について理解できるようにする。 ・方程式についての理解を深め、数の範囲を複素数まで拡張して2次方程式を解くことができるようにする。 ・剰余の定理や因数分解を利用して高次方程式を解くことができるようにする。 ・座標や式を用いて直線や円などの基本的な平面図形の性質や関係を数学的に考察し処理するとともに、その有用性を認識し、いろいろな図形の考察に活用できるようにする。 ・図形を、与えられた条件を満たす点の集合として認識するとともに、不等式を満たす点の集合が座標平面上の領域を表すことを理解し、それらを事象の考察に活用できるようにする。		中間・期末
2 学 期	[数学C] 第1章 平面上のベクトル  [数学Ⅱ] 第4章 三角関数 第5章 指数関数と対数関数  [数学B] 第1章 数列		・ベクトルについての基本的な概念を理解し、基本的な図形の性質や関係をベクトルを用いて表現し、いろいろな事象の考察に活用できるようにする。  ・角の概念を一般角まで拡張して、三角関数に関する様々な性質や式とグラフの関係、加法定理を理解し、それらを事象の考察に活用できるようにする。 ・指数関数と対数関数について理解し、それらを事象の考察に活用できるようにする。  ・等差数列、等比数列などの基本的な数列について、一般項や和を求めたり、記号 $\Sigma$ の意味を理解しそれを用いたりできるようにする。また、いろいろな数列についても、その一般項や和を求めたり、和から一般項を求めたりできるようにする。		中間・期末
3 学 期	[数学Ⅱ] 第6章 微分法と積分法		・数列に関するこれらの考え方を基にして、漸化式と数学的帰納法について理解させる。  ・微分・積分の考えについて理解し、それらの有用性を認識するとともに、事象の考察に活用できるようにする。		学年末

科目名	数学Ⅱ	単位数	2	学科・学年・学級	森林環境科 3年1組 (選択) 普通科 3年2組 (選択)
学習の到達目標	指数・対数関数、微分・積分について、その概念や原理・法則の理解を深め、数学的活動を通して創造性の基礎を培い、事象を数学的に考察し、処理する能力や積極的に活用する態度を養う。	教科書・副教材等	改訂版 新編 数学Ⅱ (数研出版) パラレルノート 数学Ⅱ (数研出版) 数学就職問題集 (浜島書店)		
評 価 規 準					
観 点	内 容			方 法	
関心・意欲・態度	数学的活動を通して、関心を持つとともに、数学的な見方や考え方のよさを認識し、それらを事象の考察に進んで活用できる。			<ul style="list-style-type: none"> <li>・課題への取り組み</li> <li>・ノートのまとめ方</li> <li>・説明を聞く態度</li> <li>・身だしなみ</li> </ul>	
数学的な見方や考え方	数学的活動を通して、数学的な見方や考え方を身に付け、事象を数学的にとらえ、論理的に考えるとともに、思考の過程を振り返り多面的・発展的に考えることができる。			<ul style="list-style-type: none"> <li>・課題の解答</li> <li>・ノートのまとめ方</li> <li>・発問に対する応答</li> <li>・定期考査</li> </ul>	
数学的な技能	事象を数学的に考察し、表現・処理する方法や推論の仕方を身に付け、自らの考えを数学的に表現し根拠を明らかにして説明することができる。			<ul style="list-style-type: none"> <li>・課題の解答</li> <li>・発問に対する応答</li> <li>・プリント</li> <li>・定期考査</li> </ul>	
知識・理解	基本的な概念、原理・法則、用語及び記号などを理解し、基礎的な知識を身に付ける。			<ul style="list-style-type: none"> <li>・課題の解答</li> <li>・発問に対する応答</li> <li>・プリント</li> <li>・定期考査</li> </ul>	
学 習 計 画					
	学 習 内 容	学 習 の ね ら い			考査
1 学 期	〔数学就職問題集〕 数と式の復習 方程式・不等式の復習 関数の復習 場合の数と確率の復習 図形の復習	<ul style="list-style-type: none"> <li>・中学校や高等学校で学習した基本的事項を確認するとともに、それらを具体的な事象の考察に活用できるようにする。</li> </ul>			中間・ 期末
2 学 期	〔数学Ⅱ〕 第5章 指数関数と対数関数 第1節 指数関数 第2節 対数関数 第6章 微分法と積分法 第1節 微分係数と導関数 第2節 関数の値の変化	<ul style="list-style-type: none"> <li>・累乗の意味を理解し、指数を自然数・整数・有理数・実数全体へと拡張できるようにする。</li> <li>・指数関数及び対数関数の定義を理解し、関数についての理解を深め、それらを具体的な事象の考察に活用できるようにする。</li> <li>・関数の平均変化率を考え、微分係数や導関数の定義を理解する。</li> <li>・グラフ上の点の傾きから導関数の符号により関数の増減を調べることができるようにする。</li> <li>・増減表を書いて、極大値・極小値、最大値・最小値を求めることができるようにする。</li> </ul>			中間・ 期末
3 学 期	第3節 積分法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・微分の逆演算として不定積分の考え方を理解する。</li> <li>・積分の考え方をを用いて面積を求めることができるようにする。</li> </ul>			実施なし

科目名	数学Ⅲ	単位数	5	学科・学年・学級	普通科 3年2組 (選択)
学習の到達目標	平面上の曲線と複素数平面、極限、微分法及び積分法についての理解を深め、知識の習得と技能の習熟を図り、事象を数学的に考察し表現する能力を伸ばすとともに、それらを積極的に活用する態度を育てる。			教科書・副教材等	改訂版 新編 数学Ⅲ (数研出版) Focus Z 数学Ⅲ (啓林館)
評価規準					
観点	評価規準			方法	
関心・意欲・態度	数学的活動を通して、関心をもつとともに、数学的な見方や考え方のよさを認識し、それらを事象の考察に活用できる。			<ul style="list-style-type: none"> <li>課題への取り組み</li> <li>ノートのまとめ方</li> <li>説明を聞く態度</li> <li>身だしなみ</li> </ul>	
数学的な見方や考え方	数学的活動を通して、数学的な見方や考え方を身に付け、事象を数学的にとらえ、論理的に考えとともに思考の過程を振り返り多面的・発展的に考えることができる。			<ul style="list-style-type: none"> <li>課題の解答</li> <li>ノートのまとめ方</li> <li>発問に対する応答</li> <li>定期考査</li> </ul>	
数学的な技能	事象を数学的に考察し、表現し処理する仕方や推論の方法を身に付け、自らの考えを数学的に表現し根拠を明らかにして説明することができる。			<ul style="list-style-type: none"> <li>課題の解答</li> <li>発問に対する応答</li> <li>プリント</li> <li>定期考査</li> </ul>	
知識・理解	基本的な概念、原理・法則、用語・記号などを理解し、基礎的な知識を身に付けている。			<ul style="list-style-type: none"> <li>課題の解答</li> <li>発問に対する応答</li> <li>プリント</li> <li>定期考査</li> </ul>	
学習計画					
	学習内容	学習のねらい			考査
1 学 期	第1章 複素数平面	<ul style="list-style-type: none"> <li>複素数平面を用いて複素数を図示し、複素数の実数倍、和、差、積及び商の幾何学的な意味を理解し、それらを事象の考察に活用できるようにする。</li> <li>簡単な分数関数及び無理関数を扱い、関数概念の理解を一層深める。簡単な関数を用いて合成関数、逆関数の意味を理解する。</li> <li>微分法、積分法の基礎として極限の概念を理解し、それを数列や関数値の極限の考察に活用できるようにする。</li> <li>「数学Ⅱ」で学習したことを発展し、和、差、積、商及び合成関数の微分法を扱い、多項式関数だけでなく、分数関数、無理関数、三角関数、指数関数及び対数関数の導関数について理解する。</li> <li>いろいろな関数について、関数値の増減やグラフの凹凸などの考察を通して、微分法の有用性を認識するとともに、微分法を速度・加速度などの考察にも活用できるようにする。</li> </ul>			中間・期末
	第3章 関数				
	第4章 極限 数列の極限 関数の極限				
	第5章 微分法 導関数 いろいろな関数の導関数				
	第6章 微分法の応用 導関数の応用 いろいろな応用				
2 学 期	第2章 式と曲線 2次曲線 媒介変数表示と極座標	<ul style="list-style-type: none"> <li>幾何学的な定義に基づいて導き出された二次曲線の方程式とその概形について考察し、二次曲線の基本的な性質を理解する。また、曲線を表す式として媒介変数を用いた式や極方程式を理解し、それらを具体的な事象の考察に活用できるようにする。</li> <li>積分の基本的な性質や置換積分法及び部分積分法について理解し、これらの方法に習熟するとともに、その有用性を認識し、図形の面積や立体の体積を求めることなどに活用できるようにする。</li> </ul>			中間・期末
	第7章 積分法とその応用 不定積分 定積分 積分法の応用				
3 学 期	発展学習	<ul style="list-style-type: none"> <li>数学的な見方や考え方のよさを認識し、それらを積極的に活用する態度を育てる。</li> </ul>			実施なし

科目名	数学活用	単位数	2	学科・学年・学級	森林環境科 3年1組(選択)
学習の到達目標	数学と人間とのかかわりや、社会生活において数学が果たしている役割や有用性について理解させ、数学に対する興味・関心を高めるとともに、事象を数理的に考察する能力を養い、数学を活用する態度を育てる。			教科書・副教材等	数学活用 数学就職問題集 (実教出版) (増進堂)
評 価					
観 点	評 価 規 準			方 法	
関心・意欲・態度	数学的活動を通して、関心をもつとともに、数学的な見方や考え方のよさを認識し、それらを事象の考察に活用できる。			・課題への取り組み ・ノートのとめ方 ・説明を聞く態度 ・身だしなみ	
数学的な見方や考え方	数学的活動を通して、数学的な見方や考え方を身に付け、事象を数学的にとらえ、論理的に考えとともに思考の過程を振り返り多面的・発展的に考えることができる。			・課題の解答 ・ノートのとめ方 ・発問に対する応答 ・定期考査	
数学的な技能	事象を数理的に考察し、表現し処理する仕方や推論の方法を身に付け、自らの考えを数理的に表現し根拠を明らかにして説明することができる。			・課題の解答 ・発問に対する応答 ・プリント ・定期考査	
知識・理解	基本的な概念、原理・法則、用語・記号などを理解し、基礎的な知識を身に付けている。			・課題の解答 ・発問に対する応答 ・プリント ・定期考査	
学 習 計 画					
	学 習 内 容	学 習 の ね ら い			考査
1 学 期	[数学就職問題集] 数と式の復習 方程式・不等式の復習 関数の復習 場合の数と確率の復習 図形の復習	・中学校や高等学校で学習した基本的事項を確認するとともに、それらを具体的な事象の考察に活用できるようにする。			中間・期末
2 学 期	[数学活用] 1章 身の回りの数学 1節 いろいろな場合の数 2節 身の回りの図形 3節 数学的な表現のくふう 2章 社会生活と数学 1節 経済と数学 2節 測定と数学 3節 コンピュータと人間の活動 3章 数学の発展と人間の活動 1節 数と人間 2節 図形と人間	・身の回りのいろいろなところで数学が関係していることを理解する。 ・図、表、行列などを用いて、事象を数理的に表現ができるようにする。 ・社会生活において数学が活用されている場面や身近な事象を数理的に考察するとともに、それらの活動を通して数学の社会的有用性についての認識を深める。 ・人間の文化史とのかかわりの中から生まれてきた数学の基礎的な概念として、数と図形の話題を取り上げ、数学に対する興味・関心が高まるようにする。			中間・期末
3 学 期	3節 数学と文化	・数学と人間がどのように関わって発展してきたかを理解する。			実施なし



科目名	数学探究	単位数	5	学科・学年・学級	普通科 3年2組 (選択)
学習の到達目標	数学Ⅰ・A・Ⅱ・Bにおける基本的な概念や原理・法則の理解を更に深め、事象を数学的に考察し処理する能力を高める。多面的にもものを見る力や論理的に考える力を育成するとともに、数学的な見方や考え方のよさを認識し、それらを積極的に活用する態度を育てる。		教科書・副教材等	自作数学問題 チャート式大学入試共通テスト対策数学Ⅰ・A・Ⅱ・B (数研出版)	
評 価 規 準					
観 点	評 価 規 準			方 法	
関心・意欲・態度	数学的活動を通して、関心をもつとともに、数学的な見方や考え方のよさを認識し、それらを事象の考察に活用できる。			<ul style="list-style-type: none"> <li>課題への取り組み</li> <li>ノートのまとめ方</li> <li>説明を聞く態度</li> <li>身だしなみ</li> </ul>	
数学的な見方や考え方	数学的活動を通して、数学的な見方や考え方を身に付け、事象を数学にとらえ、論理的に考えるとともに思考の過程を振り返り多面的・発展的に考えることができる。			<ul style="list-style-type: none"> <li>課題の解答</li> <li>ノートのまとめ方</li> <li>発問に対する応答</li> <li>定期考査</li> </ul>	
数学的な技能	事象を数学的に考察し、表現し処理する仕方や推論の方法を身に付け、自らの考えを数学的に表現し根拠を明らかにして説明することができる。			<ul style="list-style-type: none"> <li>課題の解答</li> <li>発問に対する応答</li> <li>プリント</li> <li>定期考査</li> </ul>	
知識・理解	基本的な概念、原理・法則、用語・記号などを理解し、基礎的な知識を身に付けている。			<ul style="list-style-type: none"> <li>課題の解答</li> <li>発問に対する応答</li> <li>プリント</li> <li>定期考査</li> </ul>	
学 習 計 画					
	学 習 内 容		学 習 の ね ら い		考査
1 学 期	基礎編		<ul style="list-style-type: none"> <li>基本的内容について確認するとともに、演習を通して基本的解法の習熟を図る。</li> </ul>		中 間 ・ 期 末
	標準編		<ul style="list-style-type: none"> <li>標準問題・頻出問題を解くことにより、事象を数学的に処理する能力を高める。</li> </ul>		
2 学 期	標準編		<ul style="list-style-type: none"> <li>標準問題・頻出問題を解くことにより、事象を数学的に処理する能力を高める。</li> </ul>		中 間 ・ 期 末
	応用編		<ul style="list-style-type: none"> <li>総合問題などを解くことにより、多面的にもものを見る力や論理的に考える力を育成する。</li> </ul>		
	実戦編		<ul style="list-style-type: none"> <li>数学的な見方や考え方のよさを認識し、それらを積極的に活用する態度を育てる。</li> </ul>		
3 学 期	実戦編		<ul style="list-style-type: none"> <li>数学的な見方や考え方のよさを認識し、それらを積極的に活用する態度を育てる。</li> </ul>		実 施 な し